

吉見友貴

ピアノリサイタル

音楽も人間も魅力的な
「吉見友貴の『ドイツ3大B』」

2022年8月14日(日)

開場 14:30/開演 15:00

入場料: 会員4,000円(座席

指定可)/一般4,500円/

学生2,500円(全席自由席)

Program

スティーブン・ハフ：ファンファーレ・トッカータ

ベートーヴェン：ピアノソナタ 第31番 Op.110 変イ長調

バッハ：パルティータ 第5番 BWV 829 ト長調

ブラームス：パガニーニの主題による変奏曲 Op.35 イ短調

*プログラム等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。



Mitake
Sayaka
Salon

123
Mitake Sayaka Salon (vol.115)



吉見友貴 ピアノリサイタル 2022年8月14日(日)

123
Mitake Sayaka Salon (vol.115)

開場 14:30/開演 15:00 入場料:会員4,000円(座席指定可)/一般4,500円/学生2,500円(全席自由席)

音楽も人間も魅力的な「吉見友貴のドイツ3大B。」

「吉見友貴の「ドイツ3大B.」といったら、どのような印象を受けるだろうか。

日コンやエリザベート、ヴァン・クライバーンなど著名なコンクールで話題となってきた吉見友貴といえば、日本人には珍しく、演奏するたびにスケールが大きくなり、自由に伸び伸びと解放された演奏を聴かせてくれている。

その演目には、リスト短調ソナタ、プロコフィエフのソナタや協奏曲、ラヴェル ラ・ヴァルス、などが並んでいる。

「ドイツ3大B.」と彼の得意とするレパートリーとは、やや離れていると感じる人もいるかもしれない。

迫力、リズム感、スケール感、イメージーション、それぞれ吉見友貴の独自性が溢れている。

「Z世代」と称される2000年生まれの吉見友貴は、世界で最も自由・平等の国、米国で研鑽の日々を積んでいる。

彼の眼・ハート・頭脳・全身には、現在の世界、アメリカがどのように取り込まれ、反映されているのだろう。

実は、彼が初めてサロンを訪れた時に演奏したのは、モーツァルトの23番やベートーヴェンのソナタ(熱情)等々であった。

まろやかで温かみのある美しさ、豊かな抒情、ドイツの巨匠ブレンデルが想起されるような薫りが感じられた。

ストイックな修練を重ねる姿勢も印象的だった。

吉見友貴の原点としては、やはりバッハから始まるベートーヴェン、ブラームスは外せない。

深淵なベートーヴェンの後期ピアノソナタである31番(Op.110)、技巧と形式美が光るブラームスのバガニーニの主題による変奏曲イ短調(Op.35)、

バッハのバルティータ 第5番 ト長調(BWV829)からは洗練された美学と舞曲の様式が感じられるだろう。

この「ドイツ3大B.」に加え、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールの課題曲でもあったスティーブン・ハフのファンファーレ・トッカー



タが加えられ、粋な計らいを示している。

このプログラムからは、きっと吉見友貴の原点、そして現在、本質の一端を垣間見ることができるだろう。

スティーブン・ハフ:ファンファーレ・トッカー

ベートーヴェン:ピアノソナタ 第31番 Op.110 変イ長調

バッハ:バルティータ 第5番 BWV 829 ト長調

ブラームス:バガニーニの主題による変奏曲 Op.35 イ短調

(美竹清花さろん)

吉見友貴 (YOSHIMI Yuki) Piano

2000年生まれ。高校2年在学中、第86回日本音楽コンクールで最年少優勝を果たす。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクールセミファイナリスト。4th Manhattan International Music CompetitionにてSilver Medalを受賞。2015年アリオソ桐朋音楽賞受賞。

浜離宮朝日ホールやトッパンホールでリサイタルを開催する他、2019年にはCHANEL Pygmalion Days Artistに選出され、CHANEL NEXUS HALLにて全6回のリサイタルを行った。そして2020年12月には、日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会にてミシェル・ダルベルト氏の代役を務め、好評を博した。

これまで東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、ワロニー王立室内管弦楽団等と共演。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、TBSラジオ「High school a GOGO!!」、Tokyo FM「ホンダスマイルミッション」等ラジオ出演も多数。

室内楽にも積極的に取り組み、CHANEL Pygmalion Days室内楽シリーズや、Music Dialogueに出演。そして、ニューヨーク・フィルハーモニックやフィルハーモニア管弦楽団など国内外主要オーケストラのメンバーで構成された、ヴェリタス弦楽四重奏団と共演している。

現在、ニューイングランド音楽院に奨学生として在学中。アレクサンダー・コルサンティア、上野久子、伊藤恵の各氏に師事。2019年度、2020年度ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。2020年度江崎スカラシップ奨学生。第51回江副記念リクルート財団奨学生。



世界に通用する才能溢れる
「トップアーティストが
続々と集結！」

大ホールのプラチナ席をしのぐ
生演奏の醍醐味、
一期一会で味わう圧倒的な臨在感。

日本のトップクラスの若手演奏家が、

こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。

美竹清花さろんが追求する「本物の音楽」は、

演奏者と参加者とわたしたちの、

三位一体の努力と対話から生まれます。

大好評につき
サロンメンバーズ
追加募集中!

公式LINEは
こちら



誕生。
クラシック音楽サロン、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分

Mitake
Sayaka
Salon

●お問い合わせ

株式会社 ILA (美竹清花さろん)
東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)
☎ 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)
070-2168-8484 (時間外可)
Fax 03(3409)0188

